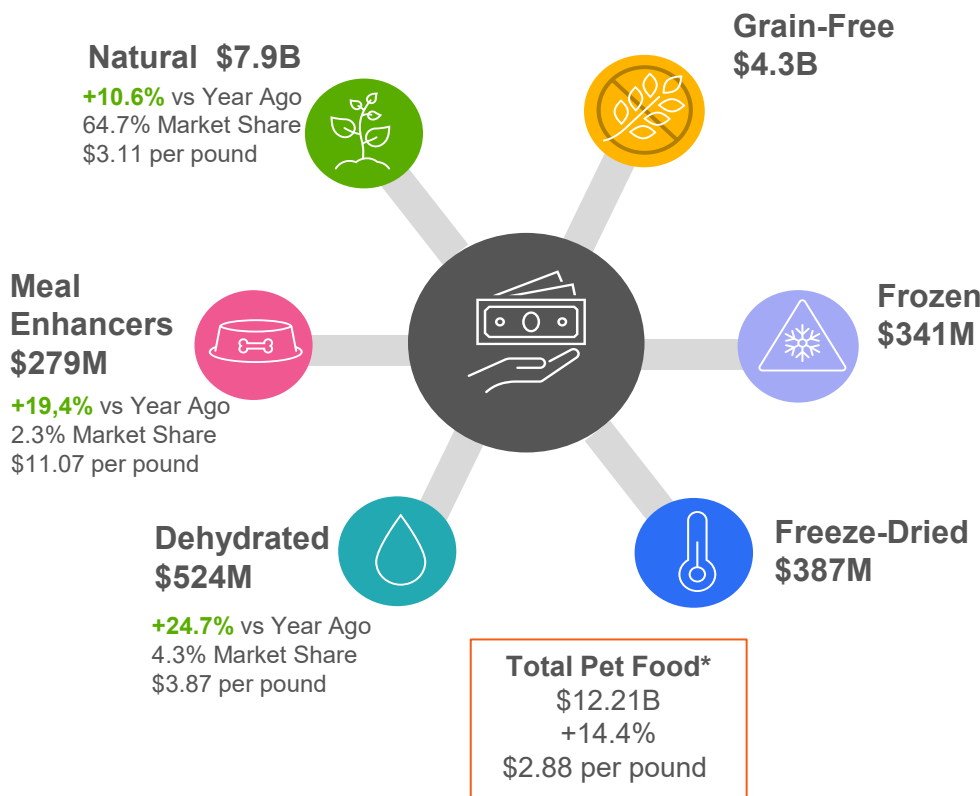


USペット市場では「ディハイドレート」、「フリーズドライ」、「エアドライ」といったユニークな保存技術のペットフードが22年には金額ベースで24.7%増加  
- アメリカにおけるペット関連消費調査より -

NIQ/GfK Japanは、NIQ USチームによるUSならびにUKのペットケア業界のトレンド調査から、今後ペットケアブランドが競争力を維持し続けるためのポイントを発表した。

- ペットの飼い主は従来の乾燥ペットフードに代わる、栄養価の高いペットフードを求めるようになっている。最も栄養価の高い「生」のペットフードへの関心が高く、USでの検索数は2022年3月から2023年2月の1年間に昨年よりも35,180件増加し、合計161,613件となった。さらに「ディハイドレート」、「フリーズドライ」、「エアドライ」といった栄養価を損なわずに加工できるユニークな製造技術への関心が高まっており、ペットにとってより栄養が豊富な選択肢を求める飼い主の気持ちを反映している。

フリーズドライ、ディハイドレート、ふりかけなどのニッチ製品が、金額シェアは小さいがペットフード全体の伸び率を上回る - NIQ



- NIQ USのデータによると、フリーズドライおよびディハイドレートドッグフードの売上高は2021年から2022年にかけて金額ベースで24.7%増加し、2023年も継続して成長している。これらの製品は、冷蔵保存の必要がなく賞味期限も長いいため、生に近い栄養価の特性を求める飼い主に人気がある。またNIQデータでは、フリーズドライ、ディハイドレート、ふりかけ等の副食物の製品が他のセグメントを上回る急成長を遂げていることを示している。これらの商品は高価格帯であるにもかかわらず、高品質のペットフードにより多くの投資をしようとする飼い主を引き付けている。